

SOGEVAC・SV630BF 油回転式真空ポンプのメンテナンス

真空ポンプの性能を最大限に発揮させ故障を防ぐためには定期的なメンテナンスが必要です

① 日常的な点検

オイルの残量をチェック

ポンプを停止させ、オイルサイトグラス部で点検してください。

オイルの色と漏れをチェック

通常、オイルは透明です。黒ずんだ場合は交換してください。
劣化したオイルの使用は故障の原因となります。ガスや液体がオイルに溶けていると到達圧力が低下しますので、吸気ポートを閉じガスバラストバルブを開けた状態でポンプを約30分運転させ、オイルを脱気してください。

ポンプのノイズをチェック

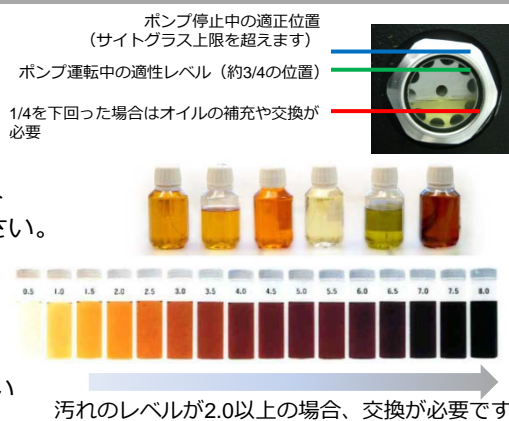
ポンプ運転初期値のノイズから変化が見られるかを観察してください。

ポンプの温度をチェック

表面温度はオイルフィルター側面が一番熱くなるので、オイル温度に近い温度が確認できます。オイルは液温で80℃近くになる場合があります。

ポンプの使用環境温度は12℃から40℃です。

温度が高い場合はポンプ設置場所の通気または冷風機を設置し、条件の範囲内で使用してください。



② 定期点検

ダートトラップの清掃 (1か月ごと)

異物、ごみなどが無いことを確認し、異物があった場合は取り除いてください。

ガスバラストフィルターの清掃 (1か月ごと)

固定レバーを外して上カバーを取り外し、フィルターを取り外して清掃または交換してください。

オイル交換

初回は150時間、2回目以降は1,000時間運転後、または3か月後。オイルの汚れが激しい場合は必要に応じて交換してください。オイルは1台あたり20~23L必要です。

オイル：LEYBONOL LVO130 5L：注文番号 L13005 20L：注文番号 L13020

オイルフィルターの交換 (オイル交換時)

オイルを交換する際、オイルフィルターも交換してください。必ずポンプの電源を切ってから作業してください。専用のオイルフィルター交換工具を使用してください。また、オイルが温かいうちに交換してください。

Vベルトのチェック (6か月)

別紙の手順書に従ってVベルトをチェック、調整してください。

排気フィルターの交換 (年1回)

年1回、または排気ポートからオイルミストが出た場合に交換してください。

フロートバルブの動作チェック (排気フィルター交換時)

排気フィルターを交換する際、フロートバルブを上下動させ、動作確認を行ってください。

逆流防止弁のチェック (年1回)

バルブの動きを点検し、ごみなどがある場合は掃除してください。

オイル冷却装置 (熱交換器) の清掃 (年1回)

別紙の手順書に従ってオイル冷却装置を分解し清掃してください。

ベアリングへのグリスの点検・補充 (10,000時間運転後)

プーリー側、反プーリー側のカバープレートを取り外し、ベアリングのグリスの状態を点検、乾いていたり汚れている場合には古いグリスをふき取り、新しいグリスを補充してください。

グリスは必ずライボルト指定のものを使用してください。

③ 定期オーバーホール

標準仕様は3年ごと、または20,000時間を超えた時点の実施を推奨します。

作業内容

ポンプの分解、清掃

各種消耗部品の交換 (Oリング、ガスケット、ベアリング、モーターベアリング、フィルター等)

各種部品の検査

組立

運転テスト及び能力確認

詳しくはライボルト株式会社 技術・サービスセンターまでお問い合わせください。

〒305-0854 茨城県つくば市上横場1959

TEL : 029-839-5480 / FAX : 029-839-5485

